諦めない力がここに集結

高文祭速報新聞

発行
高文連
新聞専門部
山田・高農
追手前・小津・
市商

11月9日から14日まで、高知市文化プラザかるぽーと等を会場に、高知県高等学校総合文化祭（通称・高文祭）が開催される。約1980人、49校が参加する。かるぽーとでは、写真、書道、美術工芸、漫画、文芸、新聞部門の作品が展示される。

○文化部生徒の思いをつなぐ
○思わず目を引く作品
（書道・漫画・美術・工芸・写真）
○とうきょう総文2022出場決定

事務局

今年の高文祭について、高文連事務局の駄場綾乃先生に話を伺った。コロナの影響で活動に制限がかかる中、zoomを活用して会議をするなど工夫しながら連携したことで、昨年度に比べてできることが増えたそうだ。

昨年、コロナの影響により、不完全燃焼のまま終わりを迎えてしまった先輩方の思いを受け継ぎ、今年は後悔のない高文祭にしてほしいと参加生徒への思いは強い。展示された作品を見て、「明るく、前向きな作品が増えた気がする」と駄場先生は語る。

来場された方に、「こういう状況だからこそ、逃げずにできる事をやっていく生徒の諦めない力を感じて欲しい」と強く語った。

（文責・山田）

個性光るイラストたち

今回の漫画・イラスト展には、今年も多くの作品が展示されている。今年の作品は、個性豊かな人物が多く描かれている印象だ。

ピンク色が印象的なこちらの作品を制作したのは岡豊高校3年生の竹村夏葉さん。「こだわった部分は女の子の表情で、目の色にも注目して欲しい」と語る。作品の中のフラミンゴは、彼女の好きな動物で今回のテーマである「ピンクのナース」にぴったりだ。グラデーションが綺麗でとても可愛らしい作品だ。

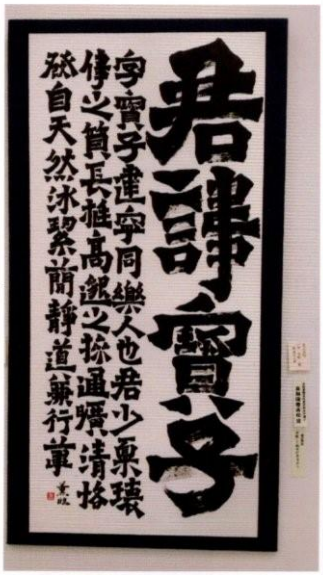
こちらの作品を制作したのは岡豊高校3年生の吉國楓花さん。図書館がテーマだそう。お気に入りは天井に吊るしてある花形のランプ。可愛らしい形でグラデーションも綺麗だ。「後ろにある本の色使いが難しく、色々なニュアンスを出す事に気をつけた」と優しい笑顔で語ってくれた。

（文責・市商）

勢いのある筆使い

書道部門では、昨年度より10校多い、36校が参加した。勢いと迫力のあるものから繊細なものまで、幅広いジャンルの作品がずらりと並んでいる。それぞれの作品から書いた人の思いが、ひしひしと伝わってくる。

「コロナ禍で時間が無いなかで、力を発揮することが出来ている」「字が小粒だが、頑張っている感じが出ている」「高校生ならではの、大人には無い勢いを感じる」という審査員からの言葉からも、作品から溢れ出る思いを実感することができる。



また、審査では一つ一つの作品を、原本と厳しく比較して間違いを見極めたり、文字の大きさ等細かい部分も確認しており、真剣な雰囲気が漂っていた。

書の文字たちは黒く輝き、力強さを魅せていた。

（文責・追手前）

2021高文祭入賞一覧

◎とうきょう総文2022出場決定

【写真】

最優秀賞	◎高知学芸	1年	羽鳥	彰洋	雪、咥内
	◎土佐塾	2年	池	愛莉	私の進む道
優秀賞	◎嶺北	1年	種田	小梅	クロノ　スタシス
	◎高知	2年	中嶋	真凛	追いかけっこ
		2年	坂本	凪	朝桜と夜桜

【書道】

奨励賞	◎岡豊高校	2年	國澤さくら	臨	王鐸「臨王献之鵞群帖」
	◎高知東高校	2年	大黒もえ花	臨	高野切古今和歌集
	◎高知小津高校	2年	川下　陽菜		守節
	◎土佐女子高校	2年	大野　佑梨	臨	孫秋生造像記

【美術・工芸】

○平面

奨励賞	◎高知学芸	1年	松田	栞和	うららか
	◎明徳義塾	2年	文	心	凛と立つ
	◎土佐	2年	泉	杏爾	perspective
	◎中村	1年	奥谷	俐香	温故知新
	◎高知学芸	2年	久保	花音	若輩

○立体

奨励賞	◎岡豊	3年	土居	史奈	ソーシャルディスタンス
		3年	西山	和吉	ソーシャルディスタンス
		1年	鈴木	乃愛	ソーシャルディスタンス
		1年	西村ほのか		ソーシャルディスタンス
		1年	森本	稀知	ソーシャルディスタンス
	◎高知西	2年	浅井	萌奈	優勝者
		2年	松本	陽莉	優勝者

【新聞】

最優秀賞	◎高知農業高校「オアシス」
優秀賞	◎高校小津高校「ハトの宅急便」
優良賞	◎高知追手前高校「追手前タイムズ」